

第9回

全国高校生

手話パフォーマンス甲子園

“手話の聖地”鳥取県で開催する手話パフォーマンスの祭典♪

参加チームを
募集します!

申込期間

5/16日・7/1日

予選審査動画
提出期限 7/15日

予選審査会
7/28日・29日

結果発表 7/29日

本大会出場チームに交通費・
宿泊費の助成あり

高校生が手話言語を使った
歌唱、ダンス、演劇、コントなどの
様々なパフォーマンスを
繰り広げます!



令和4年

9月25日(日) 会場: 倉吉未来中心
(鳥取県倉吉市駄経寺町212-5)

主催 手話パフォーマンス甲子園実行委員会

[事務局] 鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局障がい福祉課内
電話 0857-26-7682 FAX 0857-26-8136
Eメール s-koushien@pref.tottori.lg.jp
ホームページ <https://www.pref.tottori.lg.jp/koushien/>

共催

鳥取県
公益社団法人 鳥取県聴覚障害者協会

特別協賛

日本財団 Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

特別協力

一般財団法人 全日本ろうあ連盟

動画チャンネル
過去大会の演技動画はこちら



大会公式ホームページ
「募集の詳細はこちら」



▶目の不自由な方のための
音声コード



●目的

ろう者とろう者以外の者が互いを理解し共生することができる社会を築く「鳥取県手話言語条例」の理念を実現すべく、全国の高校生が手話言語を使った様々なパフォーマンスを繰り広げる場をつくり発信することにより、多くの人に手話言語の魅力や手話言語が優れた意思及び情報伝達手段であることを実感してもらうとともに、手話言語とパフォーマンスを通じた交流の推進及び地域の活性化に寄与することを目的に、「全国高校生手話パフォーマンス甲子園」を“手話の聖地”鳥取県で開催する。

●大会概要

- (1)大会名 第9回全国高校生手話パフォーマンス甲子園
- (2)日 時 令和4年9月25日(日)
午前9時30分から午後4時まで(時間は予定)
- (3)会 場 倉吉未来中心
(鳥取県倉吉市駄経寺町212-5)
- (4)出 場 予選審査を通過した15チーム
- (5)内 容 次のとおり
 - ①開会式(関係者挨拶、優勝旗返還、選手宣誓、チーム紹介)
 - ②出場チーム演技
 - ③ゲストパフォーマンス
 - ④審査結果発表・表彰式
 - ⑤講評・閉会

●主 催 手話パフォーマンス甲子園実行委員会

●共 催 鳥取県、公益社団法人 鳥取県聴覚障害者協会

●特別協賛 日本財団

●特別協力 一般財団法人 全日本ろうあ連盟

●参加資格

- (1)令和4年度に高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)、特別支援学校高等部、高等専門学校(3年生まで)、専修学校及び各種学校(修業年限が高等学校と一致している生徒に限る。)に在籍していること。
- (2)本大会に参加することについて、校長の承認が得られていること。また、参加する生徒について、校長の推薦が得られていること。
- (3)本大会への参加に当たって、原則として在籍する学校の教職員が引率でできること。
- (4)原則として、本大会の全日程、本大会前日のリハーサル及び交流会に参加できること。

●チーム編成

1チームの編成は、同一校又は複数校で編成するチームの生徒及び引率者とし、生徒は演技者の他、演技の補助者や必要に応じてチームの介添え者を含めることとする。人数は最大で生徒20人以内、引率者10人以内とし、予選参加者は原則として本大会に出場できる生徒とする。ただし、予選審査後に生じたやむを得ない事情等がある場合は、本大会に出場する生徒を変更(若干名の増減)できるものとする。

同一校からの複数チームの参加申込みは可能とするが、本大会に出場できるのは予選審査で同一校中、最上位のチームのみとする。なお、同一人が複数チームで参加することは認めない。

●演技内容等(抜粋)

- (1)手話言語を使った歌唱、ダンス、演劇、ポエム、コント、落語、漫才などのパフォーマンスで、表情も含め手話言語を正確に使いながら、伝えようとする意志をしっかりと持ち、工夫された演出や構成と豊かな表現力により演じられるものとする。なお、手話パフォーマンス甲子園(予選及び本大会含む)に出場したことのあるチームについては、自校の過去の演技テーマ、構成等と同じでも問題は無いが、同じ内容にする場合には、参考情報として理由等を様式第5号「第9回全国高校生手話パフォーマンス甲子園予選審査演技情報」に記載し提出すること。また、審査基準としては、必ずしも音(音声や音楽など)を用いる必要はないことを申し添える。
- (2)本大会での演技時間は、6分以上8分以内とする。なお、予選審査会においては、3分以内の動画を提出するものとする。
- (3)演技スペースは、概ね間口10メートル、奥行5メートルの範囲とする。なお、演技中に演技スペースから舞台袖への出入りは可能とする。
- (4)情報保障の観点から、演技中、歌詞やセリフ等には字幕を必ず表示させること。
- (5)舞台上での演技(音声によるナレーション等の演技補助を含む)は全て生徒が行うこととし、字幕表示、音響・照明のキュー出し等、演技以外の舞台進行に係る作業は生徒が主体的に行うよう努めること。
- (6)演技の補助として、簡素な小道具、舞台装置、背景、スクリーン等のみ使用を認める(概ね1分以内に準備が完了できるものに限る。))。
- (7)スクリーンに表示する内容について、字幕の他、演技のイメージを伝える画像の使用は認めるが、動画の使用は認めない。
- (8)予選審査動画の撮影ルール等は、第9回全国高校生手話パフォーマンス甲子園予選審査動画撮影要領を確認すること。

●審査方法

- (1)審査員は、予選審査会4名、本大会6名で構成する。
- (2)予選審査は、参加申込みチームが提出した演技動画を視聴する方法により、審査員が行う。
- (3)予選審査会及び本大会の審査基準、採点方法、演技時間の計測方法等は、別途定める。

●参加申込期間

令和4年5月16日(月)から7月1日(金)まで【必着】
※予選審査動画の提出期限は、令和4年7月15日(金)まで【必着】

●参加申込方法・提出資料

「とっとり電子申請サービス」の申込フォームに各提出資料を添付して参加申込みすること。

- ①参加申込書
- ②校長承認及び推薦書
- ③予選参加者名簿
- ④チーム紹介文
- ⑤予選審査演技情報
- ⑥チーム画像
- ⑦予選審査動画
- ⑧高校名の手話動画

提出期限

- ①②:7月1日(金)
- ③～⑧:7月15日(金)

●参加料 不要

●助成金

出場チーム(生徒、引率者)に次のとおり交通費、宿泊費の一部を助成する。

- (1)交通費
実費相当額を助成(1チーム当たり250,000円を上限。)
- (2)宿泊費
実費相当額を助成(1チーム当たり85,000円を上限。)

●表 彰 表彰は次のとおりとする。

- (1)優 勝(賞状、優勝旗、メダル、副賞を授与する。)
- (2)準優勝(賞状、準優勝旗、メダル、副賞を授与する。)
- (3)3 位(賞状、メダル、副賞を授与する。)
- (4)審査員特別賞(賞状、副賞を授与する。)
- (5)全日本ろうあ連盟賞(賞状、副賞を授与する。)
- (6)日本財団賞(賞状、副賞を授与する。)
- (7)鳥取県聴覚障害者協会賞(賞状、副賞を授与する。)
- (8)その他、上記受賞チーム以外の全ての本大会出場チームに手話パフォーマンス奨励賞を授与する。

●予選審査会

- (1)日 程 令和4年7月28日(木)及び29日(金)
- (2)場 所 鳥取県庁
- (3)内 容 参加申込みチームが提出した予選審査動画の視聴により審査を実施し、本大会に出場する15チームを選出する。
- (4)結 果 令和4年7月29日(金)に審査結果発表会を公開して行う(インターネットでライブ中継あり)。
なお、発表会終了後、公式ホームページ上に審査結果を掲載する。
- (5)その他 上記(4)の審査結果発表会の際に、本大会の各チームの演技の順番及び選手宣誓を担当するチームを抽選で決定する。

●スケジュール

- 5月16日(月) 参加申込み受付開始
- 7月1日(金) 参加申込み締切
- 7月15日(金) 予選審査動画の提出締切
- 7月28日(木) 予選審査会
- 7月29日(金) 予選審査会、審査結果発表
- 9月24日(土) リハーサル、交流会
- 9月25日(日) 本大会

●問合せ先

手話パフォーマンス甲子園実行委員会事務局
〒680-8570 鳥取市東町一丁目220番地
(鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局障がい福祉課内)
電話:0857-26-7682 FAX:0857-26-8136
Eメール:s-koushien@pref.tottori.lg.jp

●動画チャンネル(YouTube)

過去大会のパフォーマンス動画を公開中!
<https://www.youtube.com/user/skoushien>



開催要項・参加申込方法等について

必ず公式ホームページを御確認ください。
<https://www.pref.tottori.lg.jp/koushien/>

手話パフォーマンス甲子園 🔍 検索

